

皆様からの意見を市政に

メール&ふれあい箱でのご意見を紹介します



「市江車」の冊子について、
発刊されたことを新聞
報道で知りました。
どこで入手できますか。



「市江車」の冊子は、次の場所で無償で配布して
います。
また、ご遠方の方でご希望の方がいましたら、
生涯学習課 ☎(55)7137へご連絡ください。

【配布場所】

- ・ 市役所 生涯学習課
 - ・ 中央図書館
 - ・ 文化会館
 - ・ 佐織公民館
 - ・ 道の駅「立田ふれあいの里」
- 《生涯学習課》



※紙面の都合によりご意見などを一部
割愛させていただきます場合もありますので、
ご了承ください。



救急車の適正利用の
お願い

救急出動件数は年々増加し、平成30年中は全国で約61万件と最多になりました。過去10年の救急出動件数の増加率は30%であるのに対して、救急車の増加率は約6%にとどまります。

市消防本部においても、平成30年中に過去最多の2千81件に達し、近年では高い数字で推移しています。高齢化社会が進むなかで、今後も増加傾向は続く予想されます。

市消防本部では、現在救急車を3台運用していますが、出動が重なる近隣の消防署に応援をお願いすることもあります。その場合、救急車到着までに時間がかかり、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急車は誰でも利用できます。しかし「救急車を利用した方が早く診てもらえるから」「タクシーで行けそうだけど、めんどろっだから」

救急車は地域の限られた救急資源



総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html



「ら」と軽い病気やケガで救急車を利用すると重症で本当に救急車が必要な人への対応が遅れる可能性があります。もう一度、救急車が本当に必要なのかよく考えてください。また、救急車を呼ぶべきか迷ったときは、全国版救急受診アプリ「Q助」を利用するのも良いでしょう。現在の症状を画面上で選択していくことにより、救急車が必要かどうか判断をしてくれます。

これは「救急車をできるだけ利用しないでください」というものではありません。緊急に治療が必要だと感じたときは、迷わず119番通報してください。

救急車は市の貴重な救急資源のひとつです。本当に必要とする人が利用できるように、「救急車の適正利用」にご協力をお願いします。

☎消防本部 予防課 ☎(26)1109

お知らせ

暮らしに便利

ハイ、119番です

健康ガイド

スポーツ

イベント

子育て1・2・3

まちかどトピックス